

各位

会社名 プレミアアンチエイジング株式会社
代表者名 代表取締役社長 松浦 清
(コード番号: 4934 東証グロース)
問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション本部長
上原 祐香
(TEL. 03-3502-2020)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025年6月12日開催の取締役会において、下記のとおり、2025年7月期(2024年8月1日~2025年7月31日)の通期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年7月期通期連結業績予想の修正(2024年8月1日~2025年7月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------|---------------|------------|------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) (2024年9月12日) | 百万円 17,500 | 百万円 150 | 百万円 130 | 百万円 130 | 円 銭 14.91 |
| 今回発表予想(B) | 16,000 | 300 | 250 | 120 | 13.76 |
| 増減額(B-A) | △1,500 | 150 | 120 | △10 | |
| 増減率(%) | △8.6 | 100.0 | 92.3 | △7.7 | |
| ご参考: 前期実績 (2024年7月期) | 20,359 | 139 | 161 | △1,483 | △170.10 |

2. 修正理由

2025年7月期第3四半期連結累計期間における売上高は、子会社の株式会社ベネクスを通じて行っているリカバリー事業の売上が順調に伸長したものの、当社で行っているアンチエイジング事業の売上が減収となったことから、計画をやや下回る着地となりました。

一方営業利益は、上期から引き続き通信販売において新規獲得の広告効率が十分に改善しなかったこと等から、広告宣伝費を中心とした販売費が計画を下回ったことに加え、固定費の削減を継続し、適切なコストマネジメントを実行したことにより、計画を大幅に上回りました。

通期の売上予想に関しましては、リカバリー市場の拡大に伴い、リカバリー事業の好調な販売が継続すると見込むものの、アンチエイジング事業を取り巻く事業環境は依然として厳しく、通信販売及び卸売販売に加え、中国市場についても慎重な見方を継続しております。また、本年1月以降に順次リニューアルした「デュオ」はお客様から高い評価を得ており、一部の店頭での販売実績が前年を上回るなど堅調に推移しておりますが、リニューアル

に伴う旧品の返品を一定程度見込んでいること等から、全社の売上は当初計画を下回る見込みです。

利益面に関しましては、第4四半期には、アンチエイジング事業においては、リニューアルした「デュオ」や新スキンケアブランド「Lalaskin(ララスキン)」等の広告・販促投資を予定しております。加えてリカバリー事業につきましても、ベネクスブランドの認知を高め、更なる売上成長を促すための積極的なマーケティング投資を計画しております。また、「デュオ」のリニューアルに伴う旧品の返品の影響を見込むため、営業利益は当初計画を上回るものの、第3四半期連結累計期間の実績 1,266 百万円から大きく減少する見通しです。

以上の状況から、2025 年7月期通期連結業績予想を上記の通り修正いたします。

(注)上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上